

# 国語科学習指導案

石川県立金沢西高等学校 教諭

指導日時・教室 平成17年7月6日(水) 4限目 教室名 27H  
 対象生徒・集団 普通科2年生17人(内訳 25H9人 27H8人)  
 科目名 国語表現I(単位数2)  
 使用教科書 「国語表現I」(教育出版)

1 単元名 文章を味わい、読書感想文を書く。

2 単元の目標

- ①文章から主題を読み取る。【読む能力】
- ②主題に沿って自分の感想を書く。【書く能力】
- ③他者の作品の朗読を聞き、評価しあうことをとおして、表現のポイントを理解する。  
【聞く能力、書く能力】

3 指導に当たって

(1) 生徒の状況

本校では毎年、読書感想文(原稿用紙4枚半以上)の提出を1・2年次生の夏季休業中の課題の1つとしている。先生方の指導で全員が提出しているが、生徒の中には「読書感想文はただ原稿用紙を埋めて提出するもの」という意識を持つ者が少なくなく、最近ではインターネットのサイトから写し取った感想文をそのまま提出する者まで現れるようになった。優秀作品に対しては、クラス代表として表彰したり学校代表として外部のコンクールに応募させたりなどして評価を工夫しているが、それ以外の多くの作品は個々の評価を受ける機会が少なく、生徒の関心も薄い。

(2) 指導方針・方法

将来社会に出た時に多種多様な文章を書けるようになるためにも、生徒には自分の文章表現力を客観的に見つめて欲しいと考えている。そのきっかけとして「読書感想文鑑賞会」をひらくことにした。読書感想文を評価しあうことをとおして、良い文章とはどのようなものかを自分で考え、自己の文章表現力を向上させる機会としたい。

また、自分が書いた作品を、教師だけでなくほかの生徒に評価してもらうことにより、自分の作品に責任とプライドを持ち、今後の国語表現の授業やその他の文章表現を行う機会とし、意欲ある創作活動を行う動機付けとしたい。

(3) 教材選定の理由

夏休みの課題となる読書感想文を教材に選ぶことによって、学習の目的を明確にし、生徒の学習意欲を高めることをねらいとする。

感想文を書く素材には、教科書の「文章サンプル集」に収録された5編の作品を利用する。内容は「コミュニケーション」・「滑稽の精神」・「環境」をテーマにした正統派の文章からさくらはもこ氏やビートたけし氏のエッセイまで幅広く、生徒が抵抗なく1編を選択できるのではないかと考えるからである。

4 単元の指導計画(総時数5時間)

第1次 読書感想文の素材となる文章の共通理解(3時間)

1～2時

教科書中の「文章サンプル集」掲載の作品5編を、指名を受けた生徒が音読する。他の生徒はそれを聞きながらプリントに内容や主題をメモする。

1編の作品について数名の生徒が自分のまとめた主題を発表し、それを参考に各自が自分のメモを修正する。

3時

各自1編を選んで、前時にまとめた主題を基に読書感想文を書く。

第2次 読書感想文鑑賞会(2時間)

1～2時

教師が朗読する読書感想文を聞き、各自が良い点や再考すべき点を評価し、プリントに記入するとともに、指名により発表する。・・・本時

5 本時の指導と評価の計画（第2次・第1時）

(1) 本時のねらい

①朗読された読書感想文を注意深く聞き、評価する。【聞く能力】

②自分の評価と他者の評価を比較して、良い文章表現方法について考え、理解する。

【書く能力】

(2) 準備・資料等

匿名で番号を付した生徒の感想文

1つの感想文ごとに良い点・再考すべき点のメモを取るためのプリント

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
5分	導入 「読書感想文鑑賞会」の意義と方法を理解する。		本時の活動の意義と方法をわかりやすい言葉で伝える。 「よい点」「再考すべき点」について率直に評価し良い文章表現について考えることがねらいであることを強調する。	
35分	展開 「読書感想文鑑賞会」を通じて、評価や表現の違いを理解する。	教師が朗読する生徒の感想文を聞き、プリントに「良い点」「再考すべき点」をメモし、発表に備える。  指名された生徒は自分の意見・評価を発表する。  他者の発表を聞き、自分の意見との類似点・相違点を確認し、そのような相違が生じる理由を考察する。	「良い点」は発表しやすいであろうが、「再考すべき点」は指摘しにくいので、感想文は匿名扱いで教師が朗読する。  生徒には、2つの点についてそれぞれ最低1つは必ずメモするように指導する。  指名した生徒には、必ず2つの点を発表させるようにする。  1編の感想文につき4～5人の意見を聞き、要点を板書する。	他者の文章の内容や表現を注意深く集中して聞きとることができる。 【聞く能力】 (メモ用プリント)  他者の書いた文章を客観的に考察し評価するとともに、良い文章表現方法を理解できる。 【書く能力】 (発表とメモ用プリント)
10分	まとめ 読書感想文を書く際の要点を理解する。	各自から出た意見をもとに、自分の感想文の「再考すべき点」と、読書感想文の書き方の基本を理解する。	生徒の意見をなるべく生かしながら、良い文章表現の方法をまとめる。 意見が不足していれば、補充してまとめる。	